

令和4年度決算の概要



名古屋高速道路公社

目 次

◆ 令和4年度決算のポイント	1
◆ 令和4年度損益計算書の概要	2
◆ 令和4年度貸借対照表の概要	3
＜参考資料＞	
◆ 会計処理の特徴	4

◆令和4年度決算のポイント



■令和4年度決算のポイントは、以下のとおりです。詳細は、次ページ以降をご覧ください。

- ① 道路料金収入は、前年度から32億円増加し、679億円となりました。
- ② 道路管理費は、前年度から14億円減少し、302億円を充てました。
大規模修繕、道路設備の更新工事などを実施しました。
- ③ 償還準備金繰入(借入金の返済に充てた額)は、前年度から49億円増加し、314億円を繰り入れました。
償還準備金(償還準備金繰入の累計額)は、前年度から314億円増加し、8,033億円となり、償還率は前年度と比べ1.9ポイント向上し、48.1%となりました。

◆ 令和4年度損益計算書の概要



(単位:百万円)

費用の部					収益の部				
勘定科目	4年度	3年度	前年度比		勘定科目	4年度	3年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
事業資産管理費	30,209	31,806	△ 1,597	95.0	業務収入	68,024	65,110	2,914	104.5
道路管理費 (内消費税納付金)	30,189 (3,363)	31,583 (3,433)	△ 1,394 (△69)	95.6	道路料金収入	67,921	64,725	3,196	104.9
貸倒引当金繰入	2	+0	1	324.5	マイレージ還元負担金収入	8	121	△ 113	6.2
マイレージ還元負担金	18	223	△ 205	8.2	マイレージ引当金戻入益	43	185	△ 142	23.2
一般管理費	1,610	1,689	△ 78	95.4	業務雑収入	52	79	△ 27	65.9
業務外費用 (内借入金利息)	4,954 (4,787)	5,269 (5,096)	△ 315 (△309)	94.0	業務外収益	141	105	36	134.6
小計(管理費用)	36,773	38,764	△ 1,991	94.9					
償還準備金繰入	31,392	26,451	4,940	118.7					
合計	68,165	65,215	2,950	104.5	合計	68,165	65,215	2,950	104.5

(注) 端数処理の関係上、計及び前年度比において合わないことがあります。

■ 収益の状況・・・○ 収益の総額は682億円で、そのほとんどがお客様からの道路料金収入となっています。

○ お客様からの道路料金収入は、前年度から32億円の増加となりました。

■ 費用の状況・・・○ 費用の総額は、682億円であり、主なものは、道路の維持補修や料金收受などに要した道路管理費302億円(消費税納付金含む。)、業務外費用(借入金利息など)50億円及び借入金の元金返済に充てた償還準備金繰入314億円となっています。

○ 道路管理費は、前年度から14億円の減少となりましたが、これは修繕費などの減少によるものです。

○ 償還準備金繰入は、収益・費用の状況により、前年度から49億円の増加となりました。

◆ 令和4年度貸借対照表の概要



(単位:百万円)

資 産 の 部					負 債 及 び 資 本 の 部				
勘定科目	4年度	3年度	前年度比		勘定科目	4年度	3年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
流動資産	13,019	12,863	156	101.2	流動負債	67,666	68,024	△ 358	99.5
現金・預金など	5,905	6,183	△ 278	95.5	1年以内返済予定長期借入金※	58,054	57,910	144	100.2
未収金	7,116	6,680	435	106.5	未払金など	9,613	10,114	△ 501	95.0
貸倒引当金	△ 2	△ 0	△ 1	324.5	固定負債	513,650	536,021	△ 22,371	95.8
固定資産	1,690,741	1,681,686	9,056	100.5	名古屋高速道路債券※	409,300	422,500	△ 13,200	96.9
道路	1,678,378	1,678,380	△ 2	100.0	政府借入金※	39,508	47,444	△ 7,936	83.3
道路建設仮勘定	12,050	3,015	9,035	399.6	県・市借入金※	38,268	43,504	△ 5,236	88.0
有形固定資産など	313	290	23	108.1	長期借入金など※	18,472	14,513	3,959	127.3
繰延資産	896	980	△ 83	91.5	退職給与引当金	1,071	985	86	108.7
					ETCマイレージ引当金	11	54	△ 43	20.2
					資産見返交付金	7,022	7,022	0	100.0
					特別法上の引当金等	803,337	771,945	31,392	104.1
					償還準備金	803,337	771,945	31,392	104.1
					基本金(県・市出資金)	320,003	319,538	465	100.1
資産合計	1,704,656	1,695,528	9,128	100.5	負債・資本合計	1,704,656	1,695,528	9,128	100.5

(注)端数処理の関係上、計及び前年度比において合わないことがあります。

- 資産の状況…○資産の総額は1兆7,047億円となっています。このうち道路資産は1兆6,784億円であり、資産全体の98%を占めています。
- 負債及び資本の状況…○負債及び資本の総額は1兆7,047億円であり、主なものは、道路債券を含む借入金5,636億円※、元金返済に充てた償還準備金8,033億円、設立団体の愛知県・名古屋市からの出資金3,200億円となっています。

◆ 会計処理の特徴

- 当会社では、企業会計原則に準じた会計処理を行っていることにより、財政状態や経営成績が明らかになっております。
- 有料道路事業は、出資金・借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により返済していくものであり、全ての返済を終えると、本来の道路管理者に引き渡すことになっていることから、借入金が着実に返済されているかどうかを会計処理において適切に把握することが重要です。
- 「道路資産」においては、企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上しておりません。
- 借入金の返済に充てた年度の「収支差」(収益と費用の差)を「償還準備金繰入」として費用に計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表の負債の部に計上しています。
- 「道路資産」の額と「償還準備金」の額の対比により、道路に投下した資金の償還状況がわかるしくみになっています。